

第54号
 発行日：平成25年10月20日
 発行所：
 東京青山同窓会事務局 **新住所**
 〒107-0062
 港区南青山3-8-9-202
 (有)ジェイ・クラブ内
 TEL. 03-3423-3591
 発行者 池 一

東京会報

東京青山同窓会

-東京青山同窓会年間維持費-
 1口/1,000円2口以上(年間)
 会計幹事:佐藤 茂 (77回)
 振込先:三菱東京UFJ銀行・
 江戸川橋支店
 普 1170247 東京青山同窓会
 郵便振込口座 00150-9-4074

平成25年 東京青山同窓会 新人歓迎会・講演会 報告

平成25年6月14日(金) 於:ANAインターコンチネンタルホテル東京 宮本真理子 120回

つい昨日まで高校生だったつもりが、120回卒の私も今年は新人を迎える立場となりました。月並みな表現ですが、月日が経つのは早いものです。

本年度の新人歓迎会・講演会は、五月晴れとは参りませんでしたが、心配された台風の影響もなく、無事開催されました。

鈴木博之先輩(107回)の司会で始まり、まず、猪口孝会長(70回)の挨拶で始まりました。新幹線で新潟へ往復する際、行き帰りでいつも本を4冊お読みになるというエピソードをさらりと披露されていました。

来賓を代表して青山同窓会会長長谷川義明先輩(61回)よりご挨拶をいただきました。続いて、校内幹事で、かつ旧3年担任の本間茂先生(88回)からご挨拶をいただきました。勉強しない大学

生が増える中、時間を惜しんで本を読み、学んで欲しいという新入生に向けたお話でしたが、私自身思い当たる節がありました。

講演では、森邦雄先輩(75回)が「今、新潟では…」をテーマに、新潟の魅力を存分に語っていただきました。新潟は米だけではない、ということを示してくださいました。

返礼の辞の新入生代表は小林巨海さんです。彼が考える「青山同窓会」の存在を、新潟高校のシンボルマークの松葉に絡めて話してくれました。新入生とは思えないほどの堂々とした話しぶりに、会場がどよめいていたのが印象的です。

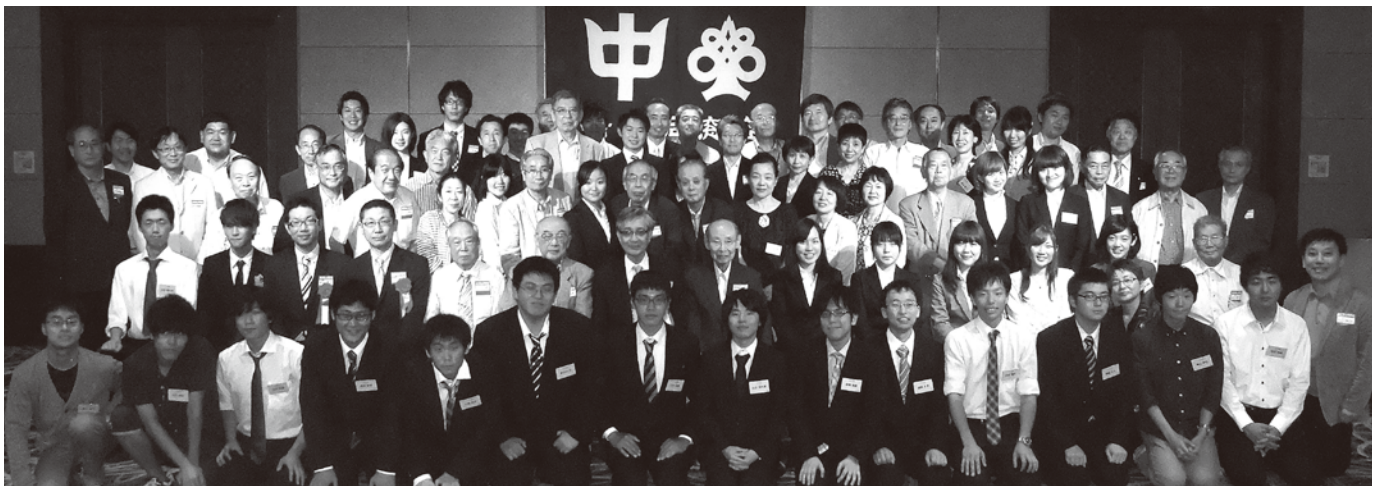
会の締めくくりは恒例の校歌斉唱です。これもまた恒例となった、鳥津孝先輩(84回)の指揮です。合唱部OBがいたこともあり、大変美しい校歌でした。

丈夫、エール、と盛り上がったところで、旧新人、遠藤希美さん(120回)から閉会の辞をいただきました。

二次会でも、幅広い年代が集まった会場では、終始、新潟高校の思い出話に花が咲き、笑顔で溢れていました。多くの新入生から、「また来たいです。」の言葉が聞けたことが私は何より嬉しかったです。

twitter、facebookなど、最近のSNSの発達は目を見張るものがあります。しかし、私は、直接面と面を向かわせた繋がりとというものが落ち着きます。大先輩の方々のお話は、いつも学ぶことばかりです。同期と久しぶりに顔を合わせる場でもあります。今回は後輩達も新たに加わり、一層賑やかになりました。

新潟高校という一つの柱に支えられたこの繋がりが、これからも続き、そして更に広がっていくことを願っています。そして、私にこの繋がりを与えてくださる同窓会先輩の皆様へ、心より感謝いたします。



事務局通信

住所リスト出力サービス

当同窓会では、皆さんからの情報を元にデータベースを更新しております。
「同期会開催のための住所録」が必要な方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストをご提供いたします。ご希望の卒業回数を明記し、代表者の連絡先・送付先を書き添えて事務局宛 FAX. またはメールをお送りください。
 FAX. 03-3423-1692 mail:kusakabe@moon.email.ne.jp (日下部・82回)

■住所リスト1学年/3000円■

偶数月第二火曜日の会(申込み不要)

H25/12/10(兼忘年会)・H26/2/12(水・11日は祝日の為)・4/8・6/10
 毎回定時19時より◇日本海庄や(赤坂通り店) 港区赤坂3-13-7
 Tel:03-3586-5003
 場所も時間も固定です。ふらりとお立ち寄りください。

Web サイト

◇本部◇ http://www.geocities.jp/niigata_aoyama/
 ◇東京◇ <http://www.tokyo-aoyama.org/>

会長挨拶

猪口 孝 70回



高校と大学が意味するところが大きく変わってきている。高度成長時代(1960-1991)には地方の県立高校は大学へのつなぎ目として非常に重要な役割を果たしていた。地方から東京への橋渡しでもあった。私自身もそのパターンであった。ところがその後の低成長時代(1991-

現在)にはこの位置関係が大きく変わりはじめています。どういうことかという、地方の高校をスキップして、東京の高校を目指すのが増加している。その方が東京の大学進学に有利になるという計算である。実際、統計をみると、東京の有力大学の出身校をみると、東京の高校出身が圧倒的で、地方の高校出身は地方有名受験校を除くと大袈裟にいうと、全滅に近い感じである。にもかかわらず、地方の高校で勉強して東京の大学を目指すのは、数的には非常に多い。しかし、かなりの人が善戦はするが苦戦する人も少なくない。さらには、地方の高校をスキップして、東京や外国の高校で勉強して、外国の大学やら大学院を

目指すのが視野に大きく入りはじめた。これは低成長時代とグローバル化の産物である。日本の有名大学は昔思っていたほど最高のアベニューではなくなったという認識が強まったからである。同時に、高度成長時代には圧倒的多数が東京の大学を目指していたのが、低成長とグローバル化の時代には、地方の大学の意味も見直されていることも重要である。新潟の高校も大学も新しい状況に適応して、イキイキと生き延びてほしい。グローバル化の時代には東京を介さずに、地方から直接、海外の高校から大学そして大学院へのアベニューも大きく開かれるのである。そのためには地方の魅力をよく分かってもらう必要があるし、さらには地方の高校や大学で学ぶことが東京で学ぶのに比べて、ハンディーにならないように魅力倍増にしなければならない。

64回東京同期会報告

川崎明・坂井敬

これからは何年に1回ではなくて毎年やろうよという事になって、事務局に2人が指名されスタートしたのが平成15年。早いものでもう10年がたった。この間平成18年には卒業50周年ということで新潟で全国総会が行われたので今年は10回目の記念同期会となった。

会場も同窓会と合わせて赤坂の東京全日空ホテルから始まって新宿の東京厚生年金会館、さらに平成22年から今

の有楽町ニュートーキョーに変わった。出席者は東京同期会がこの10年ほぼ50名前後、新潟の全国総会では100名が集まった。

さて今年は6月8日(土)午後1時~4時ニュートーキョー9階、ラステラに49名が参加してくれた。遠い所では神戸から川上修さん、大阪から松原迪夫さん、新潟から若槻晃一さん、内海公子さんが元気な姿を見せてくれた。いつも初参加の方が会の雰囲気になじんでくれるかどうか気にするところだが、そこは同じ学舎で3年間を過ごした仲、にぎやかな談笑の中に入っておられ安堵す

るのが常である。

私達64回生は卒業347名、うち同期会当日現在で76名の方が故人になっておられる。5人に1人が亡くなられていることになる。

さらに同期会欠席の回答に自身病のため、肉親・配偶者介護のためという理由の方も多々おられる。64回もそういう年になって来たんだということを痛感する。同期会に出席できる健康・体力・環境にある私達は「何という幸せ」と感謝し来年の再会を祈りたいと思う。来年は喜寿。



61期 新生「同期合同幹事団」の誕生

61期D組幹事：杉山由人

間もなく傘寿を迎える年齢に達し、出席者の減少で以前より懸案であった幹事の「クラス持ち回り」制を、来期から、各クラスより選出された幹事で構成する「同期合同幹事団」が運営を継続することに決まりました。各クラス幹事の互選により、徳田晋也君が代表幹事に選出されて、新しく出発することになりました。

『これで、東京青山61期会は幹事一人になるまで続行か!』

さて、平成25年6月1日(土)の会場はJR有楽町駅に近い東京国際フォーラムガラス棟にある東天紅。参加者は大橋先生を含めて36名。全員集まり次第、会場外の広いテラスからガラス棟の空間をバックに集合写真を撮影。

プログラムは慣例により、開会宣言・物

故者への黙祷・新潟高校校歌斉唱へと進む。20年以上前に、音楽の江口先生から頂いた貴重なカセットテープの録音が健在で、これを伴奏に杉山の指揮で歌う。鈴木正三幹事代表の挨拶では、今

回の運営改革についての趣旨を説明。そして大橋先生のご挨拶・乾杯・歓談・応援歌合唱と続く。毎回新潟・秋田の参加者からは、みんなが楽しみにしている垂涎の銘酒が差し入れられる。酔うほどに話は尽きず、予定時間が過ぎる。最後は「同期合同幹事団」への引き継ぎで盛会のうちに終了した。



76回・卒業44周年同期会

東京同期会幹事：西沢芳樹

平成21年2月に開催した40周年の東京同期会の際に、次回は4年後のオリンピックイヤーか65歳時に開催しようとの約束で散会しました。4年後の今年平成25年2月16日に会場を新宿ワシントンホテル新館にて、44周年同期会(東京会場)を開催しました。前回は59歳時でほぼ全員が現役でしたが、今回は63歳でリタイア者もい

ることから、費用を抑える方針からの会場選択でした。

当日は、首都圏以外の福岡・静岡・新潟・高崎などの遠方も含め73名が参加し、4年ぶりまたは卒業以来は初めての再会もあり、懐かしい声があがっていました。

会は同期物故者32名の黙祷から始まり、新潟幹事の斉藤栄路氏が準備してくれた、われらが中学2年生時に体験した「新潟地震」のDVD放映を行い、先の東北大震災の津波被害の記憶と合わせて、感慨を新たにしました。最後に次回

は今回同様4年後に開催することを全員で確認してお開きとなりました。

その後の2次会も57名が参加し、さらに名残惜しい人たちは同期8組岩橋氏が新宿で経営しているお店での3次会にも17名が参加し、参加者の皆さんから開催に対し感謝の言葉をいただき幹事としての喜びになりました。

ところで、今回開催の準備に携わった幹事連中は鬼怒川温泉での慰労会を催し、次回開催時にも労を惜しまないことを宣言し、今回の幕を閉じました。



86回・第3回同期会

吉井 正行

昨年、11月3日にホテル日航新潟で、「86回生第3回同期会」が開催されましたので報告いたします。2004年からオリンピックイヤーに開催してきた同期会も3回目となりました。今まで私は行方不明者だったようで、今回が初参加となりました。まだ60名ほど行方不明者がいるとのこと。

当日は同期、約450名のうち61名とゲストとして柴野先生と入田先生が参加しました。宴会に入る前に写真室で集合写真を撮影しました。(写真1)宴会後に顔が赤くなってから写真を撮るより、よい企画だと思います。宴会は、卒業時のクラス毎の円卓での中華料理となりました。私は当時4組でしたが、9

名の参加で、最大勢力となりました。さすが、物理、化学、日本史選択の理系パワー!!

開会の挨拶の後、先生方のお話ということで、柴野先生からは、①ピンピンコロリを理想としている。②今でも山に登っていて歩幅は40cmとのこと。入田先生からは、今の年齢になってやっと古典がわかってきた。当時の高校生の皆さんに古典をわかれというのには無理があったと思うようになった。というおもしろいお話を聞くことができました。

さて、乾杯の後は自己紹介で各人の近況報告、歓談となり一気に盛り上がり、宴もたけなわで、大丈夫斉唱の後、閉会となりました。

その後、ホテル31階展望室での2次会に参加したのですが、全然覚えていません。楽しい1日でした。次回が楽しみです。最後になりますが、当日配られた資料の中に、2年生の時の『京都、奈良修学旅行のしおり』が入っていて懐かしく思い、写真2に示し報告を終わります。



(写真1)



(写真2)

OB会社見学報告

母校2年生

母校の2年生が夏休みを利用してOBの企業訪問をしています。地元新潟の企業はもちろん、東京の企業へも出かけています。NHKや共同通信、財務省、特許庁、博報堂、朝日新聞社などなど、...

その中で、日揮(株)を15名で訪問した生徒の感想文の一部をご紹介します。セッティングして下さったOBは星野郁夫(84回)さん、笹川隆之(103回)さんのお二人。生徒たちは社会の第一線で働く先輩の姿に、大



いに刺激を受けていた様子です。

対応したOB側の感想としては、「思ったより幼い印象を受けたが、さすが青山、鋭い質問もあって頼もしい感じだった。」とのこと。

毎年実施しています。OB諸兄におかれましては、「是非我が社へ!」という方があれば母校へご提案をされては如何でしょうか。

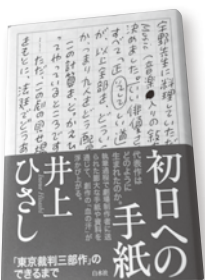
【2年生A】 今回の訪問で最も強く感じたのは、「世界で事業を行う企業で活躍するには、英語力や異文化を理解する力が必要である」ということだ。「1日の1/3から半分が英語である」という言葉がたいへん印象に残っている。また、日本のトップの企業同士や、海外の企業と協力して大きなプロジェクトに取り組むことは、文化の違いによる難しさはあるけれども面白いことであると感じた。私も将来海外の企業と協力して一つの大きなプロジェクトに取り組むこともやってみたいと思った。そしてそのためには、今から世界に目を

向けて文化の違いを学ぶべきだと思った。

【2年生B】 講義の中にあつたどのプロジェクトも驚くほど大きな規模で、お話を聞いていられるだけでもその素晴らしさを感じることができた。また、世界規模のプロジェクトでライバル企業とも力を合わせなければならず、そうした場面で貴社はチームプレーをととても大切にされているということで、人の話を深く真剣に聞くなどの一見当たり前に聞こえることが実はとても重要であることが分かった。チームプレーの観点では、岡崎さんがおっしゃっていた「細かいことは言わない。部下を信じる。」という言葉がとても印象的で、部下の立場なら一生懸命がんばって仕事に取り組み、そんなリーダーについていきたいだろうなあとと思った。また、「笑顔を絶やさないこと」も、世界規模のプロジェクトを進める上では大切なことだということが分かった。

出版報告

古川恒一 76回



『初日への手紙』「東京裁判三部作」のできるまで 著作：井上ひさし 編者：古川恒一(76回) 白水社

2001年5月、新国立劇場において、井上ひさし書き下ろしの大作「東京裁判三部作」の舞台が幕を

開けました。第一部『夢の裂け目』、第二部『夢の泪』(03年)、第三部『夢の痂』(06年)。この制作過程で、作者である井上ひさしから新国立劇場演劇制作担当プロデューサーである古川恒一氏(76回)に送られてきたファックスや手紙(音信)をまとめたものが、この度、1冊の本として編まれました。

作者が本作を執筆するにあたり、どのように物語を構想し、綿密なプロットを書き、研ぎ澄まされた台詞を紡ぎ出していったの

か、鬼気迫る過程が浮かび上がり、まさに血の汗を流すほどの闘いであったことが明らかにされます。本書では、表紙及び本文中に作者の直筆原稿の複写も配置され、2010年に他界した巨星の温かな人柄も偲べられます。

井上ひさしが古川恒一氏を「伴走者」と呼び、深く信頼していたからこそ誕生したこの貴重な1冊。演劇ファンのみならず、創作に携わる人間にとっては宝ものとなるでしょう。(編子)

地球一周—その2

北村 紘一 67回

前号の続きを記します。

船内生活

洋上では乗船客を退屈させないよう様々な工夫がされておりました。毎晩7時頃、翌日の船内イベントのプログラムを記した船内新聞というものが発行されます。航海の後半は、乗船客の自主企画が増えてプログラムがビッシリ埋まりました。

寄港する国の世界遺産の紹介や国情の説明、オプション観光のコース毎の説明、洋上カルチャースクール、寄港地直前の語学講座、有料の英語やスペイン語の講座のほか様々な自主企画が日常的にあり、自主企画の発表会や洋上運動会などの大きな行事も散りばめられていました。プロの講師や芸能人も区間的に乗船して来ましたが、大半が乗船客が出演者となるものでした。私は、64歳の時に始めたバイオリンを持参しておりましたので練習場所の確保の



ためもあって「バイオリンなど楽器練習同好会」というのを企画し毎日のように練習しました。甲板では毎朝のラジオ体操や太極拳、廊下ではマージャンや囲碁、将棋をする人達もおりました。ピアノ演奏者のいるバーもあり広い居酒屋風の場所もあり盛況でした。毎晩船専属バンドが出るバーがあり、社交ダンスをする人たちが集まっています。私は乗船前ダンスサークルに入っていましたのでよく行きました。

メインレストランでは、誕生日の人にケーキが振舞われハッピーバースデーの曲が流れるとウエイレスやウエイターが手拍子を打って集まってきました。フォーマルウェアで参加するディナーパーティーも何回かありました。毎食、席には先着順にウエイター達が案内しますので老若男女いろんな人に出会いました。自主企画の県人会もありました。乗組員はほとんど外人、乗船客も多種多様で世の中にはいろんな人がいることを再認識しました。船上で出会って結婚式を挙げた年配者もいました。「60歳の正真正銘の独身男性集まれ」という自主企画を立ち上げた年配女性もいました。

トラブル

デンマーク政府の入域許可が下りないとのことで当初予定の小舟での北極圏のイルリサットアイスフィヨルド沖観光が中止になりました。これがあるから参加したようなことでもあるので大変残念でした。代わりにノルウエーのソグネフィヨルドとネーロイフィヨルド

に船を乗り入れたし、グリーンランド脇の北極圏では、大きな氷山の周りを船が一周してくれたので少し慰められました。

驚いたことは、3人ほど病気で亡くなったこと、強風の日に甲板の出入口のドアに手を挟まれて横浜入港直前まで三角巾で手を吊っていた人やオプション観光に出かけるときに税関付近で転倒し腕の骨にボルトを入れるほどの手術受け、その後、途中で下船した人、病気で途中下船した人などがいたことです。

講演会などの会場の空調温度が低すぎて、風邪が流行って風邪に罹らない人がいないような状態になったこともありました。風邪が治らず寝込んで下船を考えた人もいました。私共も風邪に罹り1週間ほど困りましたが、寝込むこともなく横浜に帰国できたことは幸いでした。「最後の発表会」という行事の時、夕方、社交ダンスの先生の模範演技が始まったところで全停電がありました。船も止まり窓のある所以外は暗闇になり、騒音もなく異様な静けさでした。30分ほどで復旧し発表会も再開されました。

感想

地球上にはいろんな国があることを実感できました。貧困層の多い国も察知出来ました。食事、トイレ、風呂、治安、日本ほど良い国はないのではないかと思います。ピースボートは自作自演という感じで積極的に楽しむ船でした。資金があれば今度は南回りに行ってみたいと思います。

第17回東京青山玲瓏会ゴルフ大会

村山 隆男 68回

初めて都内で開催された今大会は、交通の便の良さで、第6回大会以来久し振りに参加者が20名を超えました。又、女性の参加者も4名と、最も多く、今後の会の隆盛が期待されました。

岡本綾子、川田太三両氏の監修になるこのコースは、三方を東京湾に囲まれ、東京ゲートブリッジが真横を通る絶景の地ですが、風が強くなると途端に難コースとなってしまいます。大会当日は好天気にも恵まれ、問題の風もそれほど強くはなく、良好なコース状態でした。

優勝は、何度も80台をだす等、常に安定したスコアで廻る63期の市川瑞夫さんでした。準優勝は、82のバズグロで廻った68期の渡邊千艦君、三位には、玲瓏会での

自身ベストスコアの64期、中島仁さんが入りました。

大波賞の候補には、藤田昇、飯利、市川倫、小林元、渡邊千の5氏がノミネートされましたが、最も改善に成功した68期の飯利君が賞を獲得しました。水平賞には岡田、

藤田太、中谷の諸氏がノミネートされ、スコアの最も良い69期の岡田さんが権利を獲得しました。

今回は10月17日に再び若洲で、しかも8組の参加を目指して、と大いに盛り上がり散会となりました。



平成25年度 総会のご案内

日時

平成 25 年 11 月 15 日 (金)
受付開始：午後 6 時
開会：午後 6 時 30 分

会費

一般：8,000円
女性：6,000円
大学生：3,000円

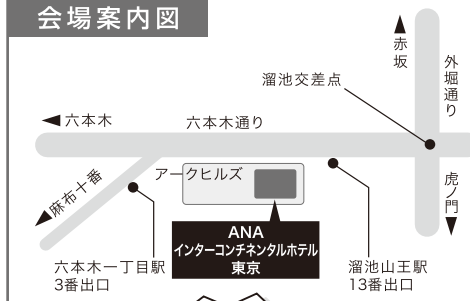
会場

ANAインターコンチネンタルホテル東京
港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111(代)

プログラム

- ◇総会議事◇
- 会務報告・会計報告など
- ◇懇親会◇
- 着席ブッフェ

会場案内図



最寄り駅

銀座線・南北線【溜池山王駅・13番出口】
南北線【六本木一丁目駅】
路線バス
都01系統/新橋駅～渋谷駅
【赤坂アークヒルズ前】下車

**75回が当番幹事
豪華景品が当たる
大ジャンケン大会を準備中!!
お楽しみに!**



予告 次年度の新人歓迎会は平成 26 年 6 月 20 日 (金) の予定です。

訃報

H25年5月～9月の期間に事務局にお知らせいただいた方々です。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 本山信城 (43回・H24.10月) | 早津克彦 (59回・H25.1.18) |
| 山谷隆二 (43回・H24.1.27) | 山崎良一 (60回・H24.11月) |
| 渡辺千尋 (43回・日付不知) | 長谷川康一 (61回・H22.11.25) |
| 村山勝榮 (46回・H24.11月) | 谷田部信 (61回・H25.6.14) |
| 涌井寿一 (47回・日付不知) | 神保均 (62回・H24.9月) |
| 服部堅一 (49回・日付不知) | 宇佐美勲 (64回・H25.3.2) |
| 小林慎治 (51回・H24.9.22) | 佐藤敦 (64回・H24.11.27) |
| 荒木英司 (55回・H24.9.26) | 廣田哲也 (66回・H24.12.31) |
| 笹川純夫 (55回・H25.1.2) | 板垣邦明 (71回・H24.5.10) |
| 高橋三男 (58回・H24.8.11) | |

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

お知らせ

東京青山同窓会事務局は移転しました。
(2013/10/1 より)

□旧住所

港区南青山3-18-4-304 (有) ジェイクラブ内

◎新住所

港区南青山3-8-9-202 (有) ジェイクラブ内

*郵便番号、電話、ファックスは変わりありません。

一筆啓上

*H25年の新人歓迎会・講演会への出欠はがきとメール、H24年度後半の会費振込用紙に添えられた主なメッセージです。

通9回・寺尾ヒデ子/新潟の青山部会の方と2重になってしまいますので、東京の方は25年度からは退会したいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

43回・本山信城/昨年9月に死去いたしました。

43回・山谷隆二/父は本年1月27日帰天いたしました。永い間お世話になり生前のご厚誼を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。(長女波多江薫)

43回・渡辺千尋/父は昨年(2012年)5月に死去いたしました。(長男)

46回・村山勝榮/H24年11月心臓病のため逝去しました。91才。大往生でした。

49回・服部堅一/服部堅一は逝去いたしましたので、脱会のお届けをいたします。長い間ありがとうございました。(服部英子)

50回・時田勇司/ご盛会を祈ります。

51回・小林慎治/昨年9月22日死亡いたしました。長い間お世話になりました。有難うございました。

52回・斎藤泰五郎/ご盛会をお祈りします。

55回・笹川純夫/前略 東京青山同窓会会報をお送り頂き誠に有難うございました。55回笹川純夫は平成25年1月2日に病氣の為永眠いたしました。ここに御報告申し上げますと共に永年に亘り御世話になりましたことを厚く御礼申し上げます。笹川醇。

56回・飯島昌彌/戦時疎開転校生であった4年間の新潟在住は『青い山脈』で象徴される青春時代そのものでした。人生のゴール迄青春の心意気を持ち続けたいものです。

56回・中山昭一/観劇、コンサート、ハーモニカの練習。時折同期の二、三人とカラオケに、その他病院三ヶ所と無

職多忙です。

56回・松井昭五/昭和23年3月に旧制最後の五年卒業して以来65年を経過します。母校は益々評価が高いようで、嬉しいことです。来る5月15日には新潟市を訪れるので母校を見てくるつもりです。

56回・皆川正男/八十路を過ぎた身ながら、週3～4日、診療に当たっております。折々に若くありし日を静かに振り返っております。

58回・笠原忠克/昨年7月文京区から立川へ転居しました。

58回・大門啓治/何とか無事に過ごしております。盛会を祈念いたします。

59回・阿部進/80才になりました。ゴルフのプレー、スポーツ応援を楽しんでいます。

59回・牛木素吉郎/6～7月はサッカーのコンフェデレーションズカップ取材のためブラジルに行っています。出席できなくて残念です。

59回・岡田久/傘寿を迎えましたが、マア元気でやっています。盛会をお祈りします。

59回・茂泉喜彦/予定が入っており欠席させていただきます。ご盛会祈念いたします。

59回・長橋敏雄/おかげ様で健康に暮らしています。傘寿追遠、盤寿追遠を楽しんでいます。

59回・花井進/81歳の高齢となり夜間の外出は控えることとしましたのでご了承下さい。皆さまのご健勝を念じております。

59回・早津克彦/今年1月18日他界いたしました。いろいろお世話になりましたが退会させていただきます。同期の方に連絡していただければ幸いです。(早津紀久江)

59回・藤原幸雄/身体のおちこちに異変で、一日を大事に過ごしております。ご盛会を祈念いたします。

60回・石黒忠士/所用のため残念ながら欠席します。ご盛会を祈ります。

60回・徳田浩一/東京会報、毎回楽しく読んでいます。元気にゴルフ、テニス、囲碁で頑張っています。

60回・山崎良一/夫・山崎良一は、昨年11月に永眠致しました。今で最後とさせていただきます。山崎美枝子

61回・助川孝雄/ご盛会を祈念申し上げます。

61回・田中宣/毎々お世話様です。

61回・田中忠夫/ご盛会を祈念いたします。

61回・長沼雄峰/年齢を重ねるごとに昔が鮮明になります。毎年1回の同期会を楽しみに生きています。元氣な友と鏡いながら。

61回・中村正春/H24年10月に小平市の住居表示変更に伴い、当方の住所表示が変わりました。

61回・長谷川康一/いつも東京会報をお送りいただき有難うございました。大変お知らせが遅くなり申し訳ございませんでしたが、主人・長谷川康一は病氣のため平成22年11月25日に永眠いたしました。長い間お世話になりました有難うございました。今後毎回のご発展をお祈り致します。(内)

62回・池田昌之/昨年末、転居しました。

62回・植松敬/お世話になります。年会費、よろしくお取り計らい下さいませ。4～12月の週末には、長野県佐久市の実家が無人となったため帰省し、旧畑の仕事に取り組んでいます。

62回・神保均/前略 夫神保均の青山同窓会のお知らせを頂きましたが、夫は昨年9月に他界いたしました。皆様

一筆啓上

方よろしくお伝え下さい。

62回・小池健治/仕事その他でなかなか出席できかねていますが、今後ともよろしくお祈りいたします。ご盛会を祈ります。

62回・本井孝至/盛会を祈ります。

63回・馬場政説/お役目ご苦勞様です。

64回・宇佐美勲/本年3月2日、病死いたしました。

64回・川崎明/今年の同期会は6月8日(土)午後1時~4時まで、数寄屋橋・ニューキーヨー9階『ラ・ステラ』で開催します。目下、49名の出席回答が来ています。2年後輩(66回)の合田春美さんから、返信ハガキを紛失したけど出席したいと連絡がありました。(演劇部の後輩です)よろしくお手配ください。

64回・坂井俊一/事務局いつもご苦勞様です。

64回・坂井敬/今年の東京64回同期会は6月8日(土)有楽町のニューキーヨーで開催します。約50名の参加を予定しております。今年76才、まさに一期一会・惜春会です。

64回・佐藤章/都合により欠席を致します。ご盛会をお祈り申し上げます。

64回・庭山暢彦/ご盛会を心よりお祈り申し上げます。

65回・阿部喜久子/身体が不自由になりました。今回の会費納入を期に退会させていただきます。ありがとうございます。

66回・内田定寛/元気に過ごしております。会費は後日手続きます。今年もご案内ありがとうございました。

66回・風間聡一/腰痛に悩まされております。皆様お元気で活躍ください。

66回・原勇/6月下旬に習志野市内のマンションへ住み替えいたします。元気にしております。今後とも宜しくお祈り申し上げます。

66回・廣田哲也/廣田哲也はH24.12.31他界いたしましたので報告いたします。生前は色々とお世話様になり有難うございました。皆様よろしくお伝え下さいませ。(内)

67回・佐々木邦夫/盛会でありますように。

67回・清水雄伍/今回は欠席となりますので、よろしくお祈りいたします。盛会を祈念いたしております。

67回・中島絢子/長い間お世話になりました。今回をもちまして退会させていただきます。ありがとうございます。

67回・松井啓/干支を6回りましたので退会いたします。長い間お世話になりありがとうございます。2013.04.30

67回・三堀浩/盛会を祈ります。

67回・皆川学/年会費納入します。

69回・高木敏之/IMW2013Kyotoは4/3~4/7、外国から約1500名の参加者を迎えて盛会でした。

69回・高柳洋夫/近年には珍しくない古希を迎えました。生きている証に年会費を納入します。会報53号の「なげね会報告」を懐かしく読ませていただきました。県内サッカー部の4校は、明訓、長岡工業、柏崎商業と新高だったと記憶しています。小生69回サッカー一部卒。

69回・松尾健司/完全な年金生活になったので、貴会の集まりに参加したいと思ながらもなかなか機会がありません。益々の盛会を祈ります。

70回・猪口孝/今春、新潟県立大学として初めて卒業生を出しました。順調です。

70回・福島治/ボッカチアの「デカメロン」の読解語源辞典第三巻目が完結し海外出版は八冊目となりました。次はダンテの「君主論」です。

70回・渡辺允雄/欠席させていただきます。大変遅れました。皆様に宜しく!

71回・板垣邦明/夫は平成24年5月10日永眠いたしました。今後の郵便物はご遠慮申し上げます。妻秀子。

71回・太田裕/先約があり今回はどうしても小生出席できません。ご了承のほどよろしくお願い致します。盛会を祈念申し上げます。

71回・柄沢卓/「卒業50年」が夢のようです。53号で懐かしい写真を拝見しました。

71回・松田裕子/同窓の皆さまのご健康とご発展を祈っています。

72回・池田克弘/定年生活を楽しんでいます。時々新潟へ戻り、同級の高橋君等と一杯やっています。

72回・大野博/会の盛況を祈念しております。

72回・富田由季/返信遅くなりますみません。受付のお手伝いをさせていただきます。

74回・池田正行/本年(H24)4月1日より早稲田大学大学院に通っています。

74回・石山范/ご案内をいただきましたが、標記につき都合がつかず欠席致します。盛会を祈念いたします。

74回・江口則男/新人歓迎会には出席いたしますのでよろしくお祈りします。受付のお手伝いもさせていただきます。

74回・梶谷好邦/定年退職後、ボランティア活動の役割が

次々に増え毎日忙しく過ごしています。

74回・工藤義夫/いつもご準備ごろうさまです。まことに遅返ながら、出席させていただきます。写真も担当します。

74回・高橋信郎/仕事を完全リタイアしました。再度学びの世界へ一歩踏み出したところです。

74回・西田百合子/3月27日から8日間アメリカ西海岸の大自然紀行を満喫してきました。ただ入国審査は厳しく、指紋(10指)、顔写真を撮られ2時間も要しました。帰国後すぐにボストンでテロ事件がありました。あれほど厳しい審査でもと驚きました。

75回・馬場俊博/昨年退職し現在は趣味と体力の維持に努めています。都合があり出席できませんがよろしくお伝え下さい。

75回・三富修/相変わらずも適度な日々を元気に過ごしております。

75回・山根英郎/新人歓迎会・講演会に出席します。宜しくお願いいたします。

77回・石川彰/いつもご無沙汰しております。申し訳ありません。また、出席の連絡が遅くなりまして重ね重ね申し訳ありません。6/14は出席しますのでよろしくお祈りいたします。

78回・阿部邦彦/定年再雇用。事業所移転。

78回・梅沢伸子/H25年度会費を振り込みます。

78回・須田幸子/前年度が未納でしたので、今回一緒に納入させていただきます。

79回・川上康夫/新人歓迎会出席いたします。楽しみにしております。

81回・成海孝二/ご案内ありがとうございます。当日は大阪出張の為参加できません。日本一のつばビルとなる「あべのハルカス」から盛会をお祈りいたします。

81回・山田徹/新人歓迎会、楽しみにしております。

82回・福岡元/出席させていただきます。講演会も楽しみにしております。よろしくお祈りいたします。

84回・崎正巳/新人歓迎会には出席しますので、よろしくお祈りいたします。

84回・野口俊介/新人歓迎会、参加いたしますので、締切を過ぎておりますがよろしくお祈り申し上げます。

84回・星野都夫/いつも幹事役お疲れ様です。歓迎会、出席します。宜しくお願いいたします。

85回・宮沢英之/欠席させていただきます。

85回・柳下和彦/残念ですが、仕事の都合により参加できません。盛会をご祈念申し上げます。

87回・長場馨/幹事業務、大変お世話様でございます。今後ともよろしくお祈りいたします。

89回・瀧川久孝/連絡が遅くなり、すみませんでした。当日出張なので、今回は参加できません。皆様よろしくお伝えください。

89回・西巻政信/お世話になっております。恐れ入りますが、6月14日(金)の新人歓迎会は、欠席させて頂ければ幸いです。お役に立てなくて、すみません。

89回・長谷川雄一/新人歓迎会のご案内を頂きました。ありがとうございます。参加させていただきますので、よろしくお祈り申し上げます。

90回・木村和人/どうしても外せない用事が入ってしまい、欠席とさせていただきます。次回またよろしくお祈り致します。

90回・森森/本年度の新人歓迎会のご案内頂戴しました。大変申し訳なく存じますが、6/14は弊社新潟で定例会議の日のため今年も出席できません。いつもすみません。ご盛会をお祈りいたします。

97回・樋口正也/2012年7月より日本IBM東北支社長として仙台に赴任しました。

103回・鷲尾英一郎/お世話になっております。宜しくお願い申し上げます。

104回・佐藤晃/当日、皆さんの笑顔にお会いできること楽しみにしております。

109回・高野知行/新人歓迎会・講演会ですが、出産のため帰省しており欠席させていただきます。また、私事ですが「一級建築士事務所土田知佳デザイン」を立ち上げました。宜しくお願いいたします。

112回・金澤信太郎/小生、4月より大阪に転勤となりました。新人歓迎会、運よく当日、東京出張となりましたので参加させていただきますと存じます。急なご連絡となり申し訳ありませんが、宜しくお願い致します。

112回・隅田伊里佳/住所変更をお願い致します。

113回・関佑樹/お世話になっております。関佑樹、栃木康行、2名参加します。宜しくお願いいたします。

115回・齋藤真理/転居しましたので宜しくお願い致します。

115回・本井典子/ご連絡ありがとうございます。大変申し訳ございませんが、今回も仕事の都合により欠席させていただきます。ご盛会をお祈り申し上げます。

116回・阿部咲/新潟へ戻っておりますので、住所の変更

をお願いいたします。

117回・成成悠理子/就職で新潟に戻ってまいりました。何卒よろしくお祈りいたします。

117回・榎本飛鳥/新人歓迎会には終業後に駆けつけても間に合いそうもありませんが、二次会には伺いたいと思います。

117回・大竹里実/5/1付でJTB群馬支店に配属になりました。信頼される社員めざして頑張っていきたい次第です。

117回・小川さき/住所が変わりました。よろしくお祈り致します。

117回・小林美由紀/投函期限は過ぎてしまいましたが、住所変更をお知らせして返信した次第です。宜しくお願いいたします。

117回・白井綾乃/ご案内ありがとうございます。昨秋に(留学より)復学し住所も新しくなりましたので、宜しくお願いいたします。

117回・菅原瀬奈/この春、就職に伴い転居いたしました。当日は出張のため残念ですが欠席させていただきます。ご盛会をお祈りしております。

117回・高尾早彩/新人歓迎会・講演会は残念ながら欠席させていただきます。ご盛会をお祈りいたします。

117回・樋口亨/いつも総会のご案内ありがとうございます。同窓会、楽しみにしておりますが大学の実習の関係上、欠席させていただきます。ご盛会をお祈り申し上げます。

117回・宮崎真緒/就職にともない、転居いたしましたので欠席させていただきます。ご連絡申し上げます。

117回・柳瑠璃/住所が変わりましたのでご連絡申し上げます。

119回・飯田圭祐/平成25年 新人歓迎会・講演会につきましては、欠席させていただきます。また、転居いたしましたのでお知らせ致します。

119回・崎孝哉/ご連絡ありがとうございます。謹んで出席させていただきます。皆さまとお会いできることを楽しみにしております。

120回・佐伯まどか/平成25年 新人歓迎会・講演会欠席致します。

120回・佐藤真生/欠席させていただきます。遅くなり申し訳ありません。住所が変わりましたのでよろしくお祈り致します。ご盛会をお祈り申し上げます。

120回・松元慎典/出席いたします。投函が遅くなり申し訳ありませんでした。

120回・宮本真理子/連絡が遅くなりました。出席させていただきます。

121回・青木雄佑/大学に入学し現在は英米文学の研究及び合唱団での活動に励んでいます。今回、新人歓迎会講演会に出席することになりました。よろしくお祈りいたします。

121回・阿部真央子/出席致します。よろしくお祈り申し上げます。

121回・浮部史也/2013年に卒業した浮部史也といいますが、連絡遅くなりましたが、新人歓迎会に参加します。

121回・遠藤正孝/当日は17:40まで授業があるため開会には遅れますが、是非参加したいと思っております。宜しくお願いいたします。

121回・大内翔太/今年新潟高校を卒業した大内翔太と申します。6月14日の青山同窓会の件でメールさせていただきます。当日出席したいのですがよろしいでしょうか?

121回・柄澤秀親/欠席させていただきます。次回以降またよろしくお祈り致します。返信が遅くなり大変申し訳ありませんでした。

121回・齋藤愛/ご案内いただきましてありがとうございます。今回は欠席させていただきます。

121回・須田田成/新人歓迎会参加にあたり、服装の制限はありますか?

121回・高橋海渡/同窓会の案内ハガキが届かなかった為担任の先生に指示を仰いで、こちらに出席希望の連絡をさせていただきます。宜しくお願いします。

121回・遠山幸也/6月14日の新人歓迎会に出席したいです。よろしくお祈りいたします。

121回・長谷川巧/大学生活にもようやく慣れ、多忙の中にも充実感を感じる今日この頃です。誠に申し訳ございませんが、講義のため遅刻させていただきます。終わり次第に駆けつけますので、宜しくお願いいたします。

121回・林南実/新人歓迎会参加させていただきます。よろしくおねがいします。

平成24年度 (H24.10.1~H25.9.30) 年会費納入者一覧

Table listing members of the Tokyo Aoyama Alumni Association for the fiscal year 2012 (H24.10.1~H25.9.30). The table is organized by age group (e.g., 通06回 (1名), 57回 (2名), etc.) and lists names in two columns per group.

新年度は平成25年度 (H25.10.1~H26.9.30) となります。新年度の年会費も宜しく願いいたします。